

第45回 旧海軍工作学校戦没者 慰霊祭



▲令和4年4月撮影、久里浜公園内の慰霊碑。春には満開のつつじに囲まれます。



▲当日はご遺族を代表して益子健一様（上）、石碑建設発起人の丸山克彦様（下）に貴重なお話を伺いました。

旧海軍工作学校戦没者慰霊祭は、かつて久里浜の地に創設されていた海軍工作学校の史実を後の世代へ伝承していくために、毎年5月22日に学校跡地の中心部にあたる久里浜公園（久里浜6-11）にて、久里浜観光協会の主催でご遺族や関係者の方々を招いて実施しています。

海軍工作学校とは、戦時下の昭和16年に開校した工作術専門の教育機関です。卒業生である5,100余名が、太平洋戦争において尊い命を捧げました。

戦後、生存された卒業生は工作学校で学んだ技術を用いて、日本の復興支援に大きく貢献しました。

久里浜公園内の『海軍工作学校跡の碑』は戦没者の冥福を祈るために、発起人の方々によって昭和52年5月22日に建てられたものです。この碑は今年で建立45周年を迎えます。この節目にぜひ久里浜公園へ足を運んでいただき、この地に残る歴史を振り返ってみるのはいかがでしょうか。



久里浜行政センター



くりはまニュースの
バックナンバーは、
久里浜観光協会
公式サイトで
ご覧いただけます。



久里浜観光協会
公式サイトQRコード